

第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

イベント名	シンポジウム「美しい森林と美しい水」
主催者	社団法人日本治山治水協会
開催日	2007年12月 <input checked="" type="checkbox"/> 1日 <input type="checkbox"/> 2日 <input type="checkbox"/> 3日 <input type="checkbox"/> 4日 <input type="checkbox"/> 5日
開催時間	14:30～17:40
開催場所	<input checked="" type="checkbox"/> 別府市内 <input type="checkbox"/> 大分県内 <input type="checkbox"/> その他
会場名	ビーコンプラザコンベンションホール内臨時会議室3
参加人数	約130名

開催概要（900字以内）

「美しい森林」づくりは、おいしく清らかな「美しい水」を育むことにつながります。森林は、降水を一時的に貯留しゆっくりと河川に流したり、水質を浄化したりして良質な水の安定的な供給に大きな役割を果たしています。水資源の確保のためにも、健全な状態の森林を維持・造成することが大切なのです。このシンポジウムでは、森林科学者による講演や水と森林を守る地域の優れた取り組み事例の発表を行いました。あわせて、森林のはたらきを紹介するパンフレットの配布やパネルの展示を行いました。

《プログラム》

- 14:00 開 場
- 14:30～14:35 開会挨拶
- 14:35～14:40 来賓挨拶
- 14:40～15:20 基調講演

筑波大学大学院 生命環境科学研究科 准教授 恩田 裕一

- 15:20～16:55 事例発表

- ・よみがえれ海のめぐみと大地のめぐみ～筑後川の水源を守る「200海里の森づくり」
(財)中津江村地球財団 前 優一
- ・森の健康診断～市民参加による流域保全
矢作川水系森林ボランティア協議会代表 丹羽 健司
- ・森林環境税～独自課税による新たな森林づくり
大分県 農林水産部 森との共生推進室 近藤 孝昌
- ・海外での取組～焼畑農民参加によるナムグム湖流域保全（JICA 国際技術協力）
農林水産省（元ラオス国農林省農林業普及局）五関 一博

- 16:55～17:35 特別講演



第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

東京農業大学 地域環境科学部 教授 太田 猛彦

17:35～17:40 閉会挨拶

17:40 閉会

※このイベントは、平成19年度「緑と水の森林基金」の助成を受けて実施しました。



第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

日本水フォーラムに期待すること（600字以内）

その他（オープンイベントを開催した感想、今後の予定など、600字以内）

